

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。小学校での感動の卒業式を終え、本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて、砧中学の校門をくぐつたことだと思います。校内の美しい桜の花も、皆さんのお祝いの日までがんばってくれました。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。来賓の皆様にも、厚くお礼を申し上げます。

さて、中学生になつた皆さんに、今日伝えたいことがあります。

まず、失敗や間違いを怖れず、授業や行事、委員会、部活動など様々なことに挑戦してください。これまで挑戦してこなかつた人、たぶんあなたに足りないのはほんの少しの「勇気」です。皆さんの先輩たちも先生方も全力で応援しますので、自分を信じて、勇気を出して、中学生になつたこの機会に、新しい挑戦をしてみましょう。もしうまくいかなかつたとしても、うそをつかない、ごまかさない、正直な生き方をしてください。そして、友達の挑戦も心から応援できる、やさしい人になつてください。

次に、お互いの個性を大切にして、ちがいを認めるという寛容な心についてです。「普通って何だろう」答えられる人はいますか。自分

とは性格がちがう、体格がちがう、考え方やものの受け取り方、感じ方、表現の仕方がちがう人がいますが、それは当たり前のことです。それを自分とちがうとか普通じやないとかいって責めたり、見下したり、仲間はずれにしたりするような、自分勝手で不寛容な人には絶対にならないでください。人にはそれぞれ悩みや事情、苦手やコンプレックスクスがあります。その上で、相手の気持ちを想像して、みんなで助け合って楽しく生活する砧中学校の一員になつてください。

砧中学校では、生徒の皆さんに責任を持つて選んだり判断したりする機会が増えていきます。新入生の皆さん、皆さんは砧中の未来そのものです。これから始まる中学校生活、新しい友や先輩、先生との出会い、様々な体験を経て、今よりもっとともと砧中学校を好きになつてください。三年間、将来の夢やなりたい自分に向かって努力し、たくさん成功と少しの壁にぶつかる経験を通して大きく成長されることを期待して、式辞といたします。

令和六年四月九日

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校長 加藤敏久